

平成29年第1回定例（2・3月）議会の概要



中津市議会議員 大塚正俊

平成29年第1回（2・3月）定例議会

第1回定例市議会(3月議会)は、2月22日から3月24日の31日間開催されました。平成28年度一般会計補正予算、平成29年度一般会計等の予算関連議案27件、条例議案20件、その他議案5件、人事案件14件、報告案件5件、意見書2件、計73件を審議し、原案通り可決しました。

平成29年2・3月定例市議会一般質問

1. 待ったなしの少子化対策

- (1) 出生数が増えない理由
- (2) 若い世代の転出超過が進む理由
- (3) 女性の働く場の確保

2. 保育園の待機児童の解消に向けて

- (1) 保育園の待機児童対策
- (2) 保育の今後の需要量と供給量

3. 放課後児童クラブの待機児童の解消に向けて

- (1) 放課後児童クラブの待機児童対策
- (2) 放課後児童クラブの保護者負担金のあり方



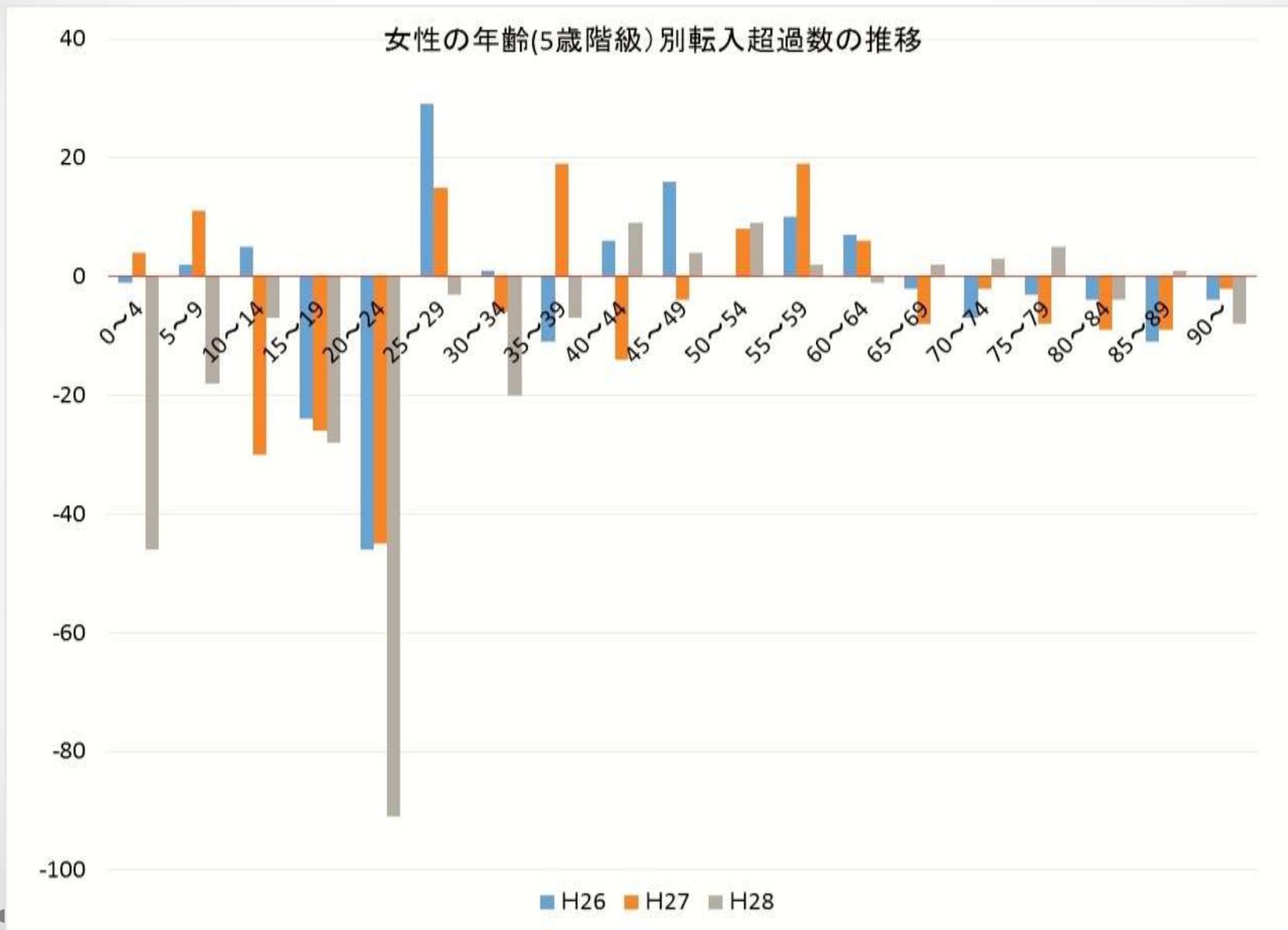
一般質問で使用したグラフ



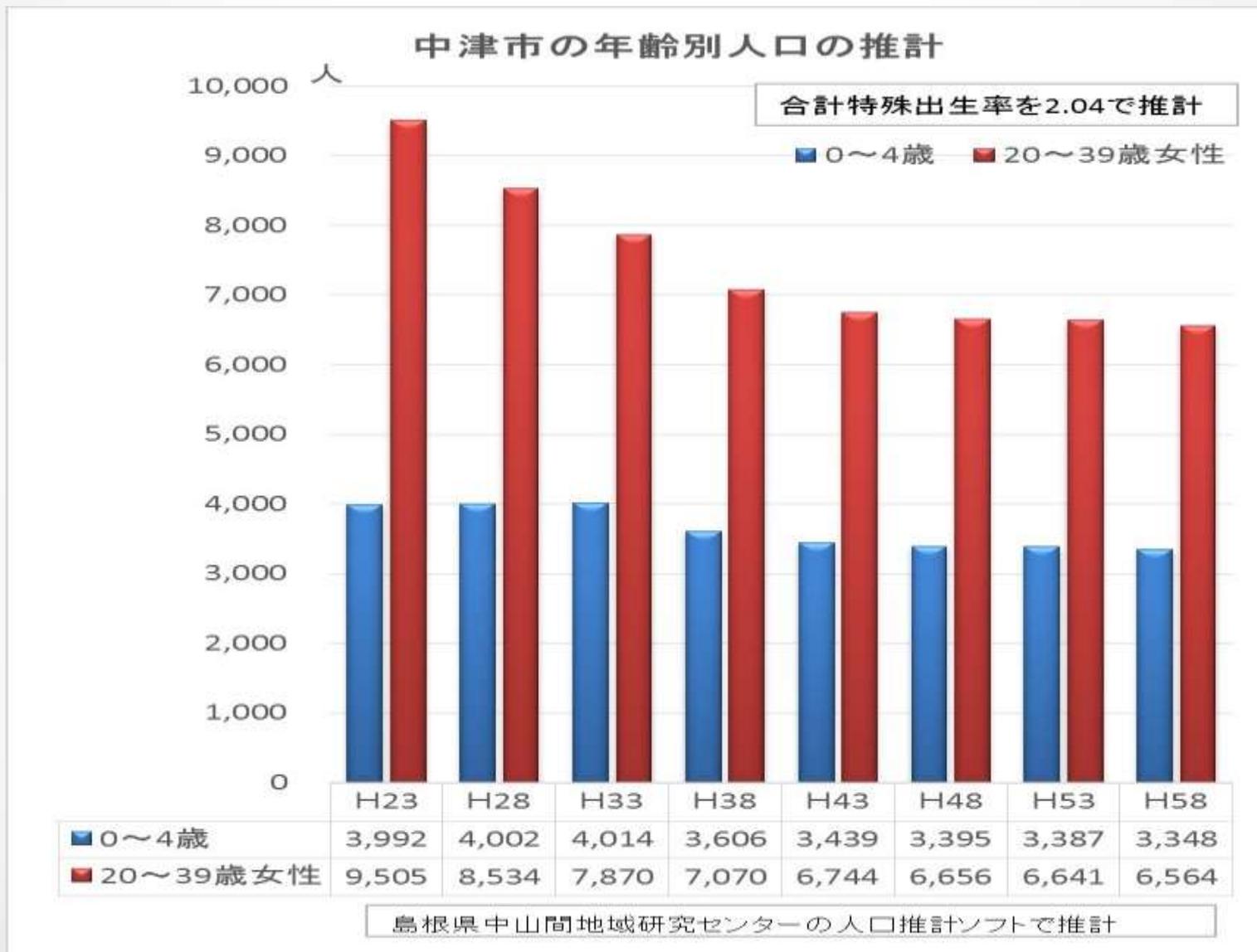
一般質問で使用したグラフ



一般質問で使用したグラフ



一般質問で使用したグラフ



平成29年3月定例市議会で決まったこと。【抜粋】

1. 平成28年度一般会計補正予算；補正額8億8,700万円減額 (補正後予算額428億8,052万円)

□就学援助奨励事業；約236万円

- ・要、準要保護児童援助費
今年度より入学準備金を3月に支給。

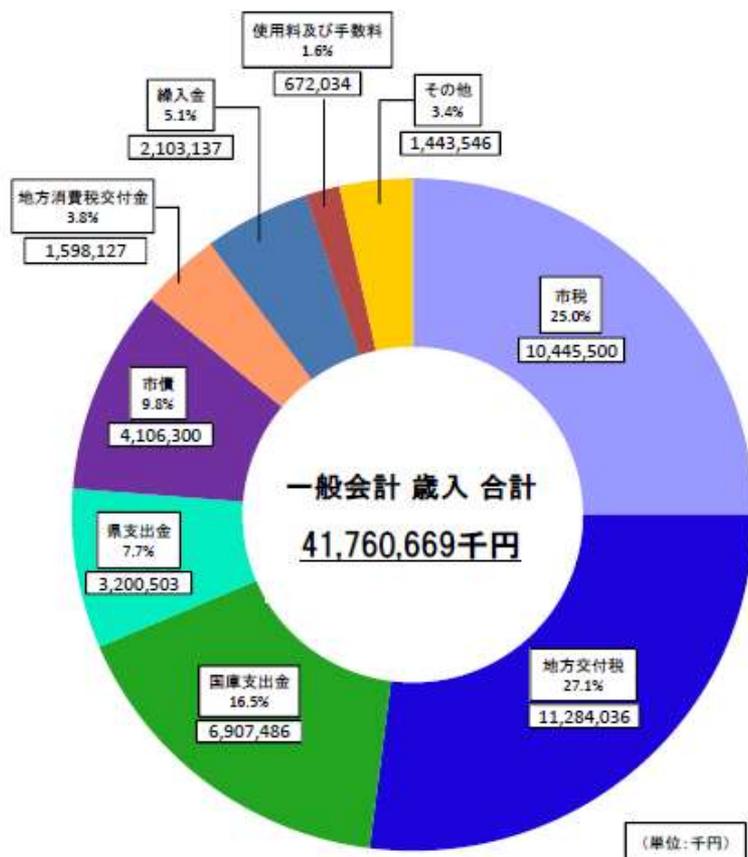
□山国社会福祉センター（仮称）整備事業：3,806万円

- ・総事業費4億1,600万円⇒3億6,160万円に圧縮
- ・工事請負費、備品購入費
- ・平成29年度完成

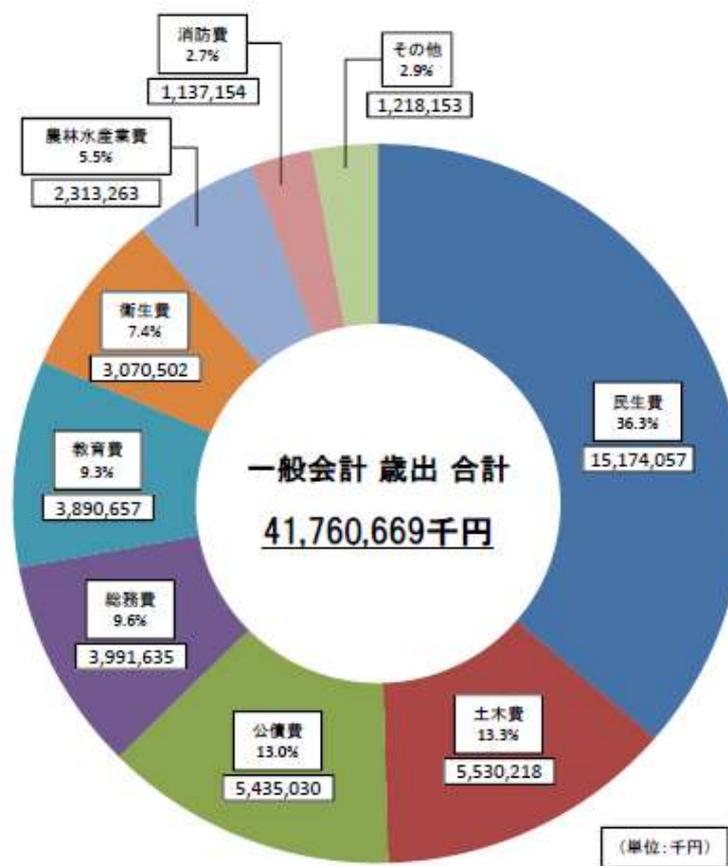


2. 平成29年度一般会計予算; 予算額417億6,067万円)

平成29年度 一般会計歳入予算内訳



平成29年度 一般会計歳出予算内訳(目的別)



□福祉的交通弱者支援事業；約1,800万円

- 身体的要因や高齢者で収入面から公共交通機関を利用できない方への外出支援として、タクシーチケットを給付します。
- 1年間に、1人12,000円分（500×24枚）を給付し、対象者は1,500人程度となる予定です。
- 対象者は、障害者・療養手帳等をお持ちの方や要介護1～5の在宅の方で、市民税非課税世帯となります。
- 対象者には7月上旬に、市から申請書を配付する予定です。



□田舎困りごとサポート事業：3,072万円

中山間である旧下毛地域の過疎地域の課題解決に向け、支所管内を巡回し、住民の困りごとを聞き、

①行政手続きの代行など

- ・行政手続きの代行（住民票・戸籍・印鑑登録証明書等の取得代行や医療・福祉関係書類の提出補助）
- ・独居老人等への訪問による会話や安否確認
- ・軽微な生活道路の草刈、支障木の伐採作業等

②関係機関との連絡調整業務

③コミュニティバス運行ルートの支障木除去業務

④その他応援業務（災害危機管理業務、地域行事など）を行います。

※各支所に、職員2名を配置



□長寿祝金事業：1,396万円

- ・平成28年度まで、敬老祝金（4,138万円）として、85歳以上の方に毎年1万円が支給されてきました。
- ・今後、対象者が増加することを踏まえ、長寿祝金に変更するものです。
- ・平成29年度は、85歳、90歳、100歳の方が対象となります。
- ・平成30年度以降は、90歳、100歳の方が対象となります。
- ・今後は、削減された財源を活用し、高齢者の多様なニーズに応えられる施策を展開していくとしています。

現行制度

区分	人口	金額	計
85歳以上	4,138	10	41,380
合計(A)			41,380

平成29年度

区分	人口	金額	計
85歳	589	10	5,890
90歳	366	20	7,320
100歳	15	50	750
合計(B)			13,960
(B) - (A)			△ 27,420

平成30年度以降

区分	人口	金額	計
90歳	356	20	7,120
100歳	19	50	950
合計(C)			8,070
(C) - (A)			△ 33,310

□中山間地域創業支援事業補助金：300万円

中山間地域内に居住・移住・定住してコミュニティビジネス等を創業する方に、創業資金を助成するものです。

※（例）コミュニティビジネス

宅配、移動販売、配食サービス、地域の特産を使った飲食店・小売店、特産品の商品化、農業、婚活事業等

※補助対象経費：工事費（新增築・改築等）、設備費（備品購入費等）、役務費（広告宣伝費等）

・補助率 1/2 ・補助限度額 100万円



□商店街空き店舗活用事業補助金：400万円

中心市街地商店街で、新規出店者や商店街振興組合等が空き店舗を活用して行う事業に対し、補助金を交付します。

- ・対象事業

店舗改装費（外装・内装工事、設備工事、設計に関する費用）
但し、市内に主たる事業所を有する者に工事を請け負わせる場合に限る。

- ・補助率・補助限度額

①補助率2/3 補助限度額 200万円（商店街振興組合等）

②補助率1/2 補助限度額 100万円（個人出店者）



□子どものインフルエンザ予防接種助成事業：1,500万円

対象者：未就学児から中学生まで

助成額：1回接種あたり、1,000円

接種回数：未就学児及び小学生は2回、中学生は1回

※料金は1回2,000円～6,000円程度とバラつきがありますが、平均としては3,000円程度です。

□フッ化物集団洗口事業；約85万円

・旧下毛の小学校にける集団洗口を実施

※危険性

フッ化物洗口は、急性中毒の発症の危険性がある。週1回法を採用した場合は特に、全量飲み込みで急性中毒症状が発症する危険性が大いに考えられる。

※必要性・有効性への疑問

近年、子供の虫歯は減少しており、フッ化洗口の必要性はそもそも低い。う歯予防は、歯磨きの励行、おやつへの注意、歯科検診と早期の虫歯治療など、フッ素を用いない方法を徹底することで充分である。



□胃がんリスク検査（ABC検査）事業：1,366万円

- ・対象者：40歳～65歳は5歳刻み、66歳以上は全員対象
- ・特定健診個人負担額：40歳～65歳は1,000円、66歳以上は無料

胃がんリスク検診（ABC検診）によるリスク分類

ABC分類	A群	B群	C群	D群
ピロリ菌 	—	+	+	—
ペプシノゲン値 	—	—	+	+
胃の健康度				
	健康的な胃粘膜	胃潰瘍に要注意。 少数だが 胃がんの可能性も。	慢性萎縮性胃炎。 胃粘膜の萎縮が 進行	胃がんの可能性。 胃粘膜の萎縮が さらに進行
胃がんリスク	ほぼゼロ	1,000人に1人	500人に1人	80人に1人
リスク管理	対象外	除菌前後で 画像検査	徹底した除菌後 内視鏡検査	毎年の 内視鏡検査
内視鏡の 検査間隔	不要※	3年以内	2年以内	毎年

□子どもいきいきプレイルーム整備事業：4,000万円

- ・中津駅周辺の大型商業施設内に、無料の屋内遊び場と子育て支援センターを整備する計画です。
- ・対象者は小学生以下で、保護者同伴とし、一日150人の利用を目標としています。
- ・開館時間は、9：30～18：00、広さ約900m³のホールに、滑り台や砂場、遊具、木製おもちゃなどを設置
- ・みまもり支援員として、保育士等3名を配置する計画です。



□住民型有償サービス事業：116万円

- 住民型有償サービス事業の新規立上げ時の補助金として上限30万円（H28年度12万円）を助成
- 運営の補助金として上限8万円（新規）を助成
- サービス単価；700円/1時間



※住民型有償サービスとは

地域に居住する地域住民がスタッフとなり、同じ地域に住む高齢者等の住人の困りごと(家事援助、外出援助ほか)を低料金で請け負い、地域住民同士での助け合い、支え合うことを目的とします。

□メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業：918万円

メイプル耶馬サイクリングロード活性化会議から受けた提言を参考に、モデルコース・マップづくりなど具体的な事業を実施します。

- ・モデルコース及びマップづくり
- ・サイクルハブの増設（自転車ラック・空気入れ・工具購入）
- ・ベンチ設置、草刈業務委託などの環境整備



□宮永角木線整備事業；2億600万円

- 家屋調査10件、家屋補償6件、用地取得、側溝工事等
- 完成予定年度は、平成33年度末



□北部幼稚園改築事業；約1億3,507万円

- ・測量鑑定委託料、工事請負費、用地は県より無償譲渡
- ・平成29年度完成予定



3. 条例の制定、一部改正(抜粋)

□中津市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正

- ・4月から小児救急医療体制が変更となります。
- ・小児科医の不足から小児救急センターの夜間・休日診療が午後10時までとなり、産業医大や北九州医療センター、市内開業医等の応援によって運営されます。
- ・午後10時以降は、小児救急電話相談窓口（☎22-6535）を設置し、診察が必要と判断された場合には市民病院で救急対応をします。
- ・従来どおり、救急車等の重症の患者は受入れします。



□空家等の適正管理に関する条例の一部改正

- 緊急安全措置を追加

空家等が人の生命、身体又は財産に重大な損害を及ぼす等の危険な状態が切迫していると認めるときは、市長が危険な状態を回避するため、必要な最低限の措置を講じることができる。

- 危険箇所等撤去業務委託料 30万円

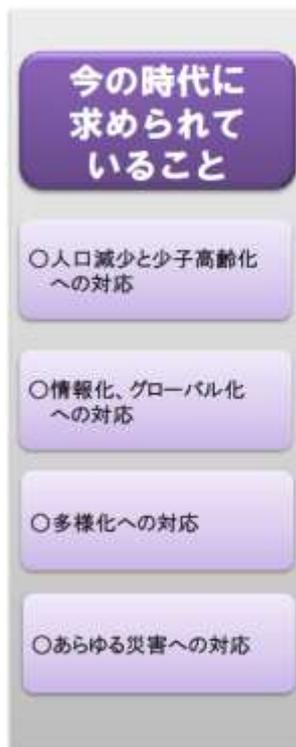


- ※危険空家等除却事業補助金;300万円

危険空家に指定された物件を、所有者や相続人自らが撤去をする場合に、工事費の1/2(上限50万円)を補助する。

4. 第5次中津市総合計画基本構想について

変化の大きい時代の潮流や社会情勢を反映した上で、これからの市政運営の基軸となる「第5次中津市総合計画」を決定しました。



【将来都市像と基本目標】

暮らし満足ナンバー1のまち「中津」

- 子どもの将来における可能性が最大限広がるまち
- 若者が未来を描くために必要な社会環境(雇用、生活、余暇、子育て、出会いの場など)が整っているまち
- 高齢者がいつまでも健康で、生きがいをもって暮らせるまち
- 男女や年齢の差、障がいの有無に関わらず、互いに支えあいながらコミュニティの一員として元気に活躍できるまち
- ふるさとを愛し、ふるさとの価値を次世代へ繋ぐまち

- 「変化」「挑戦」「創造」
- 市民協働体制の構築と情報公開
- 持続可能な財政運営との両立

参加・連携・結集

市民との対話
あらゆる主体との連携

安心

- 医療・保健の充実
- 高齢者福祉と活躍の場づくり
- 子ども子育て支援の充実
- 障がい者の自立支援
- 地域コミュニティの活性化
- 災害に強い安全なまちづくり
- 安心して暮らせるまちづくり

元気

- 企業誘致と地場企業の育成
- 一次産業振興・六次産業化
- 山国川上下流域を結ぶ観光振興
- 移住促進
- まちのにぎわいづくり
- 文化・スポーツの振興

未来

- 学びたい教育のまちづくり
- 生涯学習・産業教育の推進
- 環境の保全
- インフラ整備・維持

5. 人事案件

□中津市副市長

氏名 前田良猛（59歳）

経歴 市民病院総務課長、総務部長等



□中津市教育長

氏名 廣畑 功（65歳）

経歴 市民病院事務長、総務部長、
教育委員会教育長（平成24年4月より）



6. 意見書抜粋 【採択】

- 小児医療体制の充実と子ども医療費助成制度の拡充を求める意見書
- チーム学校運営の推進等に関する法律の早期制定を求める意見書



最後までお読みいただき、
ありがとうございました。

